

◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覧

主食		
新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言の解除が段階的になされ、前月までの勢いは影を潜めるものの、内食事情に大きな変化はなく、ほぼすべてのカテゴリで前年を上回った。 「米、米飯類」：勢いは減速。前月から11.16ポイント減。 「麺類」：ごはん以上に急減速するものの、依然として前年比2~3割増のものが多くニーズの高さが窺える。 「小麦粉、プレミックス」：宣言が解除されても直ぐに登校可能になったわけではないため、子供と一緒に手作りでできる利点での需要は依然として見られる。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
主食 TOTAL	105.5	-7.5
米	100.0	-11.0
米飯類	108.4	-16.1
食パン	107.9	-2.9
菓子パン・調理パン		
シリアル類	131.7	-6.7
袋インスタント麺	131.6	-32.7
カップインスタント麺	102.8	-7.9
乾麺	114.7	-24.5
生麺・ゆで麺	121.8	-7.0
スパゲティ	133.9	-50.5
マカロニ類	126.1	-32.9
小麦粉	181.4	-26.9
てんぷら粉	133.1	9.8
唐揚げ粉	105.4	-10.0
パン粉	117.5	-5.8
プレミックス	193.3	-27.5

調味料		
傾向は主食同様であるものの、内食化による調理シーンの増加は明確で、前月の勢いは衰えたが全体の前年比は117.5%。2桁増のカテゴリが多かった。これは、素材系のカテゴリ(冷凍水産、農産)の需要増からも推察できる。また、日持ちするメニューとしての煮物需要も引き続き窺え、和風基礎調味料に加え、本みりん、(つゆ)煮物料理の素などの伸びも見られる。 「シロップ類、蜂蜜、エッセンス類」：家庭内で菓子やケーキ、パンを子供たちと一緒に手作りするといった需要の大きさは依然として続く。主食の粉ものの需要増とも合致。 「バター」：TVで免疫力アップの食材と紹介された影響で2か月連続で前年の1.5倍超。 「ゴマ油」：調理需要の高まりからか、前年の1.5倍超が続く。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
調味料 TOTAL	117.5	-5.2
醤油	109.8	-9.6
味噌	106.0	-4.4
食塩	113.8	-7.3
料理酒	122.7	-9.4
砂糖	109.4	-6.8
低カロリー甘味料	113.4	-9.1
シロップ類	147.2	-30.6
蜂蜜	147.3	-9.1
ソース	123.5	-10.5
ケチャップ	121.2	-17.4
マヨネーズ	108.3	-9.2
ドレッシング	107.5	-3.1
香辛料	132.9	-4.6
エッセンス類	198.8	-38.3
焼肉シヤブシヤブのタレ	115.4	3.7
食酢	107.5	1.2
ほん酢	114.1	-7.9
本みりん	116.1	-13.5
みりん風調味料	110.1	-7.3
風味調味料	104.0	-12.5
削り節	105.3	-5.7
煮干し	100.5	-10.1
わかめ・こんぶ類	119.2	-6.8
つゆ・煮物料理の素	114.7	-6.7
サラダ油・天ぷら油	104.6	-6.5
ゴマ油	143.8	-10.0
バター	152.5	-6.1
マーガリン類	119.3	2.1
チーズ	122.9	-1.0
ジャム・ママレード	112.1	0.4

※網掛け
前年比 105%超: 105.5

加工食品①		
傾向は主食、調味料と同様でほぼすべてのカテゴリで前年を上回ったものの、前月までの勢いはすっかり影を潜めた。 それでも、「米」「米飯類」の需要増による、ご飯のお供やそのものの調理に使用する「〇〇の素」は大きく減速するが2桁増は継続。汁物も連動して需要は高かった。また、「スパゲティ」の需要増が続いたことで「パスタソース」も3割増。「冷凍調理」でもスパゲティ&ソースは2桁増で、菓ごもり以降の「スパゲティ」需要の高さに変化はなかった。他にも「うどん、餃子、チャーハン、から揚げ」などが伸長。素材系の「冷凍水産、農産」また「調理用スープ」はこれまで以上に需要が高まり、菓ごもり⇒調理・内食化の実態は、継続していることが鮮明になった。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
加工食品① TOTAL	112.0	-12.9
春雨・くず切り	124.7	-3.3
こうや豆腐		
海苔	114.0	2.6
ふりかけ		
お茶漬の素	111.0	-24.5
まぜご飯の素	115.4	-17.0
カレー	104.4	-26.9
シチュー	121.7	-11.5
パスタソース	131.4	-45.5
シチューベース	131.7	-9.7
メニュー専用料理の素	109.1	-14.7
スープ類	111.0	-4.5
味噌汁・吸物類	104.2	-5.3
調理用スープ	133.7	-14.9
冷凍水産	165.6	-4.1
冷凍農産	125.6	-11.2
冷凍調理	112.5	-11.2

加工食品②		
傾向は加工食品①同様で、すべてのカテゴリで前年を上回ったものの前月の勢いはない。 「魚介、畜肉缶詰」：勢いは一過性とみえて、前月差が他に比べて大きかった。 「野菜、フルーツ缶詰」：料理の材料にしたり、そのまま食したりできるなどの簡便性が効いて、勢いは落ちたものの好調な需要は窺える。「ハム、ソーセージ、焼豚、ベーコン」：缶詰類同様に調理需要の高まりから、素材の一つとしての重宝されているものと思われる。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
加工食品② TOTAL	110.9	-7.0
魚介類缶詰	102.8	-23.7
野菜缶詰	129.4	-12.2
フルーツ缶詰	133.2	-11.2
畜肉缶詰	114.6	-30.5
パウチ入り食材	110.7	-7.8
和風食品	101.5	-0.4
洋風食品	109.2	-7.3
中華風食品	114.6	-5.7
畜肉ハム	111.2	-3.8
畜肉ソーセージ	111.7	-3.0
魚肉ソーセージ	102.5	-10.4
焼豚	124.0	-5.2
ベーコン	125.5	-6.4

加工食品③		
練り物をはじめ、和風のおかず系も前月ほどではないが前年を上回った。ごはん需要によるメニュー拡張の一環かと考えられる。「練り物、豆腐類」：4月の低温と家族が揃うことによる鍋需要の延長があったものと推察。 「納豆」：発酵食品＝免疫力アップの図式から安価で入手できる点で見直されてきた。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
加工食品③ TOTAL	107.6	-5.2
かまぼこ	104.3	-5.3
ちくわ	109.2	-4.0
はんぺん	112.9	0.8
揚げ物	108.0	-2.2
納豆	111.8	-7.9
煮豆	100.8	-1.9
佃煮	103.9	-6.1
もずく・めかぶ		
豆腐類	110.0	-6.2

菓子		
菓ごもりの影響で、引続きファミリーユースの菓子が好調で2桁増。「チョコレート」：手作りケーキ用としての板チョコ需要が発生。「ビス&クラ」：ケーキタイプが2割強の増。子供のニーズにマッチして新商品も好調。 「スナック」：全般に好調維持。新商品も販売を伸ばす。「煎餅・あられ」：柿の種、揚げ煎餅が2桁増と好調で牽引。「玩具メーカー菓子」：大ヒットマンガの話題に注目が集まる中、このキャラクター商品が登場していきなりトップとなるなど大盛況。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
菓子 TOTAL	104.4	-1.5
チョコレート	109.6	3.3
キャラメル		
キャンディ		
チューインガム		
ビスケット&クラッカー	117.0	-0.5
スナック	110.3	-4.3
煎餅・あられ	111.9	-2.1
玩具メーカー菓子	205.0	106.6
栄養バランス食品		

嗜好品		
菓ごもり消費の影響で全体的な勢いは維持。「アイスクリーム」「デザート類」：子供のおやつ需要は根強い。「ホイップクリーム」：手作り菓子需要の恩恵が明白。「コーヒー他嗜好飲料」：在宅勤務による家庭での需要増。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
嗜好品 TOTAL	107.5	-1.0
アイスクリーム	108.6	2.4
デザート類	102.5	-4.8
ペビーフード		
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム		
ホイップクリーム	209.9	12.9
インスタントコーヒー	105.1	-3.2
レギュラーコーヒー	119.9	-4.0
紅茶	122.2	-5.3
ココア	108.0	-20.6
日本茶	106.5	-4.7
麦茶		
中国茶	110.3	3.6

飲料		
外出自粛の影響により、カテゴリによる好不調の明暗が分かれた。気温の低い日が多かったことが、清涼飲料全体の前年比を押し下げた要因。 「牛乳」：家庭での子供の消費や、調理需要の増加により伸長。「ヨーグルト、乳酸菌飲料」：外出自粛のなか、健康意識が高まっており、健康訴求のブランドが注目されている。 「豆乳」：無調整豆乳の伸び、調理需要の高まりが背景にある。「コーラ」：家庭での大容量の需要が増加。「サイダー」：フレーバー炭酸水が好調。「紅茶ドリンク」：レモンティー等、主カブランドの新商品が市場を牽引。「ミネラルウォーター類」：炭酸水が好調。健康志向の高まりのほか、酒の割材としての需要も増加していると考えられる。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
飲料 TOTAL	95.9	-2.6
牛乳	110.4	-1.5
ヨーグルト	108.3	-5.2
乳酸菌飲料	106.1	-8.6
豆乳	103.1	-10.2
100%ジュース		
果汁飲料		
トマトジュース		
野菜ジュース		
コーラ	103.4	3.8
サイダー	115.0	1.5
炭酸飲料		
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク	101.6	6.2
液体茶		
スポーツドリンク		
美容・健康ドリンク		
栄養ドリンク		
ミネラルウォーター類	103.4	-0.1
乳酸飲料		

アルコール		
菓ごもりの本格化とともに家飲み需要も増加。「ビール」：不調続きも前年比プラスに。「ウイスキー」：好調維持。家飲み需要を反映してかボトルが好調。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
アルコール TOTAL	111.5	6.4
ビール	106.4	6.8
ウイスキー	121.9	6.3
ワイン	118.7	8.0
日本酒	101.8	6.6
焼酎	109.0	3.7

日用雑貨		
新型コロナウイルスの影響による異常な動きは、食品系に比べて急速に沈静化した。それでも特定カテゴリでは依然として過熱した動きが続いており、買いそびれた商品を手入したりといった状況もあって、相変わらず前年を大きく上回った。 特に「除菌、抗菌」が訴求されている「ぬれティッシュ」の需要の高さが顕著。「漂白剤、芳香・消臭剤」は行き渡ったせいか前月からは減速。また家庭内を清潔(消毒)に保とうとする意識からか、「住居用クリーナー、使い捨て紙クリーナー」をなどの各種クリーナーも勢いは落ちたが依然として需要高。これに伴って急伸した「家庭用手袋」は一息ついた感あり。これは明らかに菓ごもり効果の一端と言える。また気温がやや高めだったため、害虫対策の「殺虫剤、防虫剤」や、梅雨に向けて「カビ防止剤、除湿剤」が2~3割増と通常の生活感も覗く。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
日用雑貨 TOTAL	104.1	-11.5
歯ブラシ		
歯磨き		
マウスウォッシュ		
義歯用剤		
洗濯用洗剤		
中性洗剤		
漂白剤	102.3	-39.9
柔軟剤	100.0	2.4
台所用洗剤	114.0	-28.4
住居用クリーナー	157.1	-39.5
トイレ用クリーナー	109.4	-15.4
バスクリーナー	114.5	-12.8
パイプクリーナー	113.0	-2.1
家庭用手袋	118.7	-74.7
化学雑巾	123.4	-3.0
たわし・スポンジ	113.7	-5.0
水切り袋	108.4	-23.5
殺虫剤	126.1	33.2
防虫剤	121.5	29.4
カビ防止剤	124.8	-2.2
芳香・消臭剤	134.8	-41.1
トイレタンク用洗浄芳香剤	104.2	-3.8
除湿剤	125.4	20.4
ラッピングフィルム		
アルミホイル	107.0	-20.6
食品包装用品	125.8	-22.9
アルミガスマット	132.3	9.7
ティッシュペーパー		
トイレットペーパー		
ペーパータオル	115.1	-43.2
ぬれティッシュ	193.6	-10.0
使い捨て紙クリーナー	133.1	-26.8
紙おむつ		
大人紙おむつ	100.2	-6.1
生理用品		
絆創膏		
使い捨てカイロ	101.7	-1.4
綿棒	101.1	-12.9

ペット		
新型コロナウイルスの影響はほぼ収束し、平常を取り戻した感あり。「キャットフード」：おやつ系が伸長して牽引。「ペット用品」：ウェットティッシュ、紙おむつ等の紙製品に加え、シャンプー、蚤取り首輪が伸長。散歩するなどの日常が始まったか。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
ペットカテゴリ TOTAL	102.4	-0.9
ドッグフード		
キャットフード	103.8	-0.9
ペット用品	106.3	1.5

化粧品		
緊急事態宣言の段階的な解除によって、化粧品は少し上向き始めた。基礎系よりもメイク系にその傾向が窺え、いよいよ登校、出勤の備えが始まるものと推察。「洗顔クリーム」：美白、アクネ訴求の商品が好調で2桁増。「マニキュア」：見える指先を整える意識の表れか、前月から急上昇。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
化粧品 TOTAL	78.9	1.6
クレンジング		
洗顔クリーム	104.0	-3.4
化粧水		
乳液		
栄養クリーム		
パック		
美容液		
化粧下地		
ファンデーション		
おしろい		
口紅		
眉目料		
マニキュア	106.1	19.8

医薬品		
医薬品市場は、菓ごもり生活の定着で外的ストレス等が激減し、軽度の体調不良が抑えられたと推察されることから、市販薬の需要は低調で前年を上回ったのは「皮膚用薬」のみ。しかしこれも、新型コロナウイルスの影響によるもので、手指消毒剤が前年の14倍強まで伸長したところが大きい。新商品や、新規参入メーカー品などで需要増に対応している様子が窺える。また対策用品の「マスク」は、並行輸入ものが出回ったり、設備投資等で生産ラインが拡充できたメーカーからの商品が漸く店頭にも並び始めたことで販売が上がる。但し以前のように複数の知られたメーカー品が店頭に並ぶことはなく、馴染みのないメーカー品が並ぶことが多いのではと思われる。例年であれば、花粉症対策が収束するこの時期は急速に需要が落ちるために、今期は前年のおよそ5.9倍となった。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
医薬品 TOTAL	101.3	4.8
コンタクト用剤		
マスク	586.5	412.2
ミニドリンク剤		
漢方薬		
総合感冒薬		
鼻炎治療剤		
解熱鎮痛剤		
鎮咳去痰剤		
口腔用薬		
胃腸薬		
整腸薬		
外用鎮痛消炎剤		
皮膚用薬	129.8	-1.2
目薬		
健康食品		

石鹸・ヘアケア		
食品系とは違い新型コロナウイルスによる影響は限定的となった。「石鹸」：入念な手洗い需要続く。液体タイプは前年の2倍に拡大。手指の清潔を訴求するタイプは同3.097倍で全タイプのトップに躍進。「入浴剤」：入浴によるリラクセスを求めたり、菓ごもりによる親子での入浴機会増で2割強アップ。子供向け玩具入り商材が好調で拍車をかける。「ヘアトリートメント」：菓ごもりで入浴を楽しむ余裕ができたせいか、染毛目的の商品が4割強アップと好調。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
石鹸・ヘアケア TOTAL	112.6	-5.4
石鹸	192.0	-23.1
入浴剤	124.6	2.7
シャンプー		
ヘアリンス		
ヘアトリートメント	115.6	6.3
アウトバスヘアケア		
ヘアカラー	103.1	-0.2
育毛トニック		
制汗剤		

ペット		
新型コロナウイルスの影響はほぼ収束し、平常を取り戻した感あり。「キャットフード」：おやつ系が伸長して牽引。「ペット用品」：ウェットティッシュ、紙おむつ等の紙製品に加え、シャンプー、蚤取り首輪が伸長。散歩するなどの日常が始まったか。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
ペットカテゴリ TOTAL	102.4	-0.9
ドッグフード		
キャットフード	103.8	-0.9
ペット用品	106.3	1.5

化粧品		
緊急事態宣言の段階的な解除によって、化粧品は少し上向き始めた。基礎系よりもメイク系にその傾向が窺え、いよいよ登校、出勤の備えが始まるものと推察。「洗顔クリーム」：美白、アクネ訴求の商品が好調で2桁増。「マニキュア」：見える指先を整える意識の表れか、前月から急上昇。		
カテゴリ	金額前年比 2020年5月	前月差 2020年5月
化粧品 TOTAL	78.9	1.6
クレンジング		
洗顔クリーム	104.0	-3.4
化粧水		
乳液		
栄養クリーム		
パック		
美容液		
化粧下地		
ファンデーション		
おしろい		
口紅		
眉目料		
マニキュア		